

自立した学び手となる

大町市立仁科台中学校 学校だより No.1 令和4年4月6日(水)発行

令和4年度の出発にあたって

～入学式・1学期始業式より～



本日、96名の新入生を迎えて入学式と始業式が行われ、令和4年度の仁科台中学校の歩みがスタートしました。希望に満ちて新年度を迎えた生徒たちに、校長先生から今年度仁科台中学校が目指す方向性をお示しいただきました。興 幸雄 校長先生のお話(式辞)を紹介いたします。

好天に恵まれ、北アルプスの山々が勇壮な姿を見せる本日、輝かしい令和4年、仁科台中学校出発の日です。先月、小学校6年間の学びを終えた96名の新入生を迎え、入学式を挙行できますことは、仁科台中学校を挙げて喜びとするものです。

本日はご多用の中、ご来校いただきました、大町市長 牛越 徹 様 をはじめとするご来賓の皆様にご臨席をいただき、篤く御礼申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの緊張を感じながらも、引き締まった表情の中に、仁科台中学生となる決意と意欲を感じます。どうか、今のこの気持ちを忘れることなく、中学生としての心と身体の成長、学びの体験を大事にする気持ちをいつまでも持ち続けてください。

皆さんが入学したこの仁科台中学校は、開校から56年目を迎え、卒業生は12,384名。地域に根付いた歴史と伝統がある中学校です。

2、3年生の先輩たちは、日々の授業を大事にしながら、生徒会活動や部活動も充実させて仁科台中学校の良き伝統を受け継ぎ発展させています。

仁科台中学校では、大町市の進める協働の学びを進めています。これは、これからのみなさんにとって必要な学力をつけるための学びです。グループ学習などで友人の意見を聴いたり、自分の意見を言ったりしながら、考える力を高めようとするものです。みなさんは答えのない問題に立ち向かわなくてはならない時代を迎えています。そのときに必要な力が、自分の問いを持ち、友や先生の考えを聴きながら、自分の考えを深めていく力なのです。

小学校で身に付けてきた力をさらに伸ばし、中学校の授業で考える力を高め、学校生活の中で人としての力を高めていきましょう。困った時には、2年生や3年生が優しく教えてくれます。学校の先生たちがそばにいます。地域の方々も応援してくれています。そして、いつも支えてくださるお家の方々があります。安心して中学校生活を始めてください。

保護者の皆様申し上げます。本日は、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。本日、ただ今から、かけがえのない大切なお子様を仁科台中学校の全職員が責任をもってお預かりいたしました。どうか、何かお気付きの点は遠慮なく学校へご連絡いただきたいと思います。家庭と学校との親密な関係が、生徒の成長につながります。今後とも、より一層のご理解、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



1学期の始業にあたり、全校生徒のみなさんに、お伝えします。

本校は今年度より、教育目標を「自立した学び手となる」としました。「自立した学び手」とは、学ぶことが生活の中に「自然な形で位置づき、目標に向かって自ら課題を見つけ、課題解決に向けて自ら考えたり、他と協働したりすることのできる学習者を指します。

令和5年度の新中学校開校に向けて、自律「律」の先に「立つ」があるとし、生涯にわたって学び続ける必要があるこの時代に、自ら立つことのでき

る学び手(学習者)を育てることを教育目標としました。これは、昨年度までの「自律した学習者」の「律」から「立つ」進めた姿とも言えます。具体的には、「筋道立てて考え、自分の考えを適切に伝える生徒」、「吟味と検討を繰り返しながら学ぶ生徒」、「自分のよさを生かして、人の役に立とうとする生徒」を目指す生徒の姿としています。

新中学校開校を控え、今年度は歴史ある仁科台中学校を閉じる年になります。「有終の美」を飾るべく、前に進んでいきましょう。

本日、新入生を温かく励ましてくださったご来賓の皆様、式には参加されなくとも、いつも温かく見守ってくださる地域の方々に感謝し、今後とも益々のご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます、式辞といたします。



お願い

今年度も、学校だより、学年だより、学級だより等で生徒の活動の様子を、写真や作文等を通してお伝えしたいと考えております。掲載する際の写真等の使用にかかわり、ご都合の悪い場合やご心配な場合は、担任又は学校までお知らせください。

お知らせ

～ スクールセクハラなど相談窓口について ～

人権全般にかかわる相談窓口を養護教諭が担当します。他職員でも大丈夫です。

相談は、心の教室相談員やスクールカウンセラーも担当します。体罰等、職員にかかわる相談にいつでも応じます。校長または教頭にご連絡ください。

担当 柳澤 誠(教頭)